

令和4年度 阿仁川でのアユの標識放流魚移動動向調査

【調査実施方法】

- ・ 標識魚は脂ヒレを切断することで標識とした。
- ・ 標識付けしたアユの数量は400キロとし、移動範囲調査の正確を期するために放流場所は大淵地区一か所とし、6月1日に全量を放流した。
- ・ 採捕調査は友釣りに限定して行った。友釣りの実施は一般遊漁者によるものとし、協力店等への持ち込みにより確認した。

【結果】

友釣りでの放流魚の再捕率は、7月 9.3% 8月 4.8% 9月 5.8%。

全期通算では再捕 7.4%であった。全標識魚再捕数は 203 尾、全釣獲数は 2739 尾であった。また延べ釣獲者人数は 110 名であった。

月別	標識魚再捕数	全釣獲尾数	標識魚割合	延べ釣獲者数
7月	148	924	9.3%	53
8月	61	1356	4.8%	39
9月	22	459	5.8%	18
7.8.9月	203尾	2739尾	7.4%	110名

【移動範囲】

7月 全釣獲数 3147 尾中標識魚再捕魚数 120 尾であり再捕率は 9.3%であった。標識再捕魚の移動範囲は上流 5Km から 28Km まで広範囲に及び、98%が上流に遡上していた。放流地点より下流に下った個体は全再捕魚数の 2%であった。上流 5Km 前後から 15Km 前後の範囲に遡上したものが全体の 94%であった。20Km 以上遡上したものは 1%であった。全期再捕魚総数の 59%が 7月に再捕された。

8月 全釣獲数 1356 尾中標識魚再捕魚数 61 尾であり再捕率は 4.8%であった。再捕数は 7月比の 40%に減少した。移動範囲はより広範囲に広がり放流地点より 20Km 以上遡上したものの再捕数に占める割合は 7月の 1%から 18%に増加した。全釣獲数 1356 尾中標識魚再捕魚数 61 尾であり再捕率は 4.8%であった。再捕数は 7月比の 40%に減少した。移動範囲はより広範囲に広がり放流地点より 20Km 以上遡上したものの再捕数に占める割合は 7月の 1%から 18%に増加した。放流地点前後 1Km での再捕数も 7月の 2%から 10%に増加した。8月の再捕数は全期再捕総数の 30%であった。8月の再

捕数は全期再捕総数の 30%であった。

9 月 全釣獲数 459 尾中標識魚再捕魚数 22 尾であり再捕率は 5.8% であった。再捕数は 7 月比の 15%に減少した。移動範囲は 8 月に引き続き広範囲であった。放流地点より 20 Km 以上遡上したものの再捕数に占める割合は 8 月とほぼ変わらず 18%であった。放流地点前後 1Km での再捕数割合は 1%未満であった。8 月の再捕数は全期再捕総数の 11%であった。

アユの標識放流移動動向調査

再捕場所

(6月9日放流、放流尾数:7,080尾、放流時平均体長:11.7cm)

